

一般社団法人長岡市パークゴルフ協会

子どもからお年寄りまで誰でも気楽に始められるスポーツ「パークゴルフ」。運動効果も高く、近年人気を集めており、全国で愛好者は100万人以上ともいわれています。そんなパークゴルフを長岡にも広めるため、初心者向けの体験会や大会運営など精力的に活動しています。

課題

長岡市をはじめ、新潟県内はパークゴルフのコースがほとんどなく、県外に足を運んで行う状態でした。長岡市でパークゴルフを広めるためには、気軽に楽しめる公認のコースが必須。しかし、コースの整備の要望を有して集まって声をあげても、自治体等になかなか取り合ってもらえないのが悩みでした。

アクション

団体として信用を得るため、法人格獲得を目指すことにしました。法人格取得の目的は「パークゴルフの普及」と「普及のための環境整備」であり、営利を目的とした活動は念頭になかったため、非営利の法人格一択で検討を進めました。仮に要望が通りコースづくりが始まって、年数がかかることが予想できたため、その前段階の法人格取得は短期間で終わらせることが条件でした。そのため、候補にあったNPO法人は取得までに半年ほど期間を有するため、短期間で取得できる一般社団法人を選択。設立費用はかかりましたが、メンバーが盛り上がりつつあるうちに取得できたのは良かったと思っています。

	一般社団法人	特定非営利活動(NPO)法人	株式会社	合同会社(LLC)
法人の種類	非営利	非営利	営利	営利
設立費用	11万円程度	なし	24万円以上	10万円以上
手続き期間	2~3週間程度	3~5ヶ月程度	2~3週間程度	2~3週間程度
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 目的や事業に制約がない 全所得課税対象 	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動(20分野) 収益事業に係る所得のみ課税対象 	<ul style="list-style-type: none"> 出資比率に応じた議決権 全所得課税対象 	<ul style="list-style-type: none"> スモールビジネスに適している 全所得課税対象 議決権や剰余金の配分方法が内部で決められる。

※参考:内閣府「法人形態の比較一覧表」、季刊地域2017年春号より作成



森田勝さん 宇佐美邦男さん

活動の成果

法人で要望し続けた結果、今年6月に国営越後丘陵公園「あそびの里」にパークゴルフ場がオープン!近場で気軽に取り組める環境が整いました。

法人格取得後、問い合わせや体験会参加者も増え、年々会員が増加!現在では正会員・プレー会員合わせて150名ほどが会員登録してくれています。確実にパークゴルフ愛好家が増えていると実感しています。



詳しく知りたい方は協働センターまでお問合せください

we can do it!

私たちは〇〇ができます!

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん! 困りごと、協力してほしいことはありませんか? 私たちが力になりますよ!

団体① 「民謡すみれ会」は、民謡に関するご相談に幅広く対応できます!

日本の伝統芸能である民謡で、人の輪(和)をつなぐことをテーマとして日々稽古に精進しています。民謡(唄・踊り・三味線)の体験会や講習会、民謡イベントの企画運営ならお任せください。着付けの指導も致します。

詳細はこちら

団体② 「中之島ふる里伝え隊」は、中之島の歴史を伝えることができます!

中之島地域の歴史を保存し、次世代に伝えることを目的に活動しており、歴史資料200点以上を所持しています。中之島の歴史についての講演会や資料展示のご協力ができます。

詳細はこちら

information

センターからのお知らせ

組織運営のテコ入れに!

専門家出前相談

税務相談
労務相談
法人設立相談
企画相談
会計相談

活動団体の組織運営能力アップを目指して各団体のニーズに合わせた講師を無料派遣!この機会に団体のお悩み解決、スキルアップを図りませんか?

団体の現状をヒアリングした上で、専門家を決定します。まずはお気軽に協働センターまでお問い合わせください。

対象 長岡市内のNPO法人・ボランティアグループ・市民活動団体など公益的な活動をしている団体

募集数 5団体(先着順)

申込期間 平成31年2月末まで随時受付

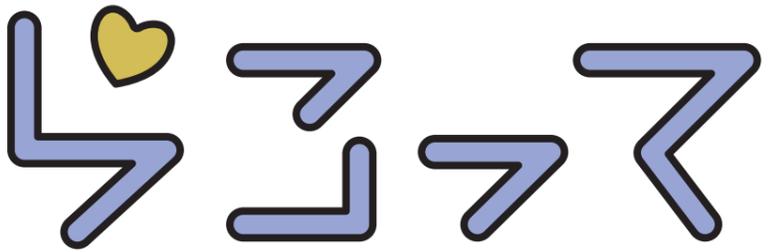
コライト、見ないと!

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこっでのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこっマ 2018.6.1 (vol.66) FREE 【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail.kyodo-c@aao-re.jp http://nkyod.org

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。



Racotte vol.66

発行●ながおか市民協働センター

2018
06
FREE

地元への愛情たっぷりの地域期待のワカモノ

インタビュー interview

喜多村茜さん

星野勇人さん

日本一のさいの神を支える大工

Move Sport

- 活動PickUp!
- ・特定非営利活動法人BAS長岡
 - ・長岡婦人フォークダンスクラブ アンティーズ
 - ・山古志木籠ふるさと会
 - ・山長組/地域イベントに人員提供

- 市民活動・虎の巻
- ・法人格の選び方
 - 『一般社団法人長岡市パークゴルフ協会』
 - 私たちは〇〇ができます!
 - ・民謡すみれ会
 - ・中之島ふる里伝え隊

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ
FMながおか 80.7MHz
ながおかの市民活動紹介番組
放送時間 10分程度
第5月曜日を除く

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根拠り葉掘りお聞きしました。



喜多村茜さん (34歳 / デザイナー) 和南津花笠甚句保存会、和南津仁和賀保存会、わくわく和南美

原動力は純粋な地元への愛情 楽しむ心で地域の魅力を次代へ

古事記に載るほど歴史ある旧川口町和南津地区。この地区で生まれ育った喜多村茜さんは、市の無形文化財にもなっている「和南津花笠甚句」や「和南津仁和賀」を守りながら、地域の魅力を発信しています。就職を機に小千谷市の農民楽団に加入し、市民活動をはじめた喜多村さんですが、当時は地元のことが少し苦手でした。「地元では『門吉さんとこの娘』と呼ばれるのが嫌で避けていました。でも地元に住み続ける以上、何かしら自分の居場所を作らなければ…とも思っていました。そんなモヤモヤを抱いていた23歳のとき、地域のおじいちゃん達から「和南津花笠甚句」の踊り子のオファーが舞い込み、引き受けることに。「自分が小さいときに習った地域の文化が無くなるのが悔しくて、『今のうちに教わらないと!』と思

ました。保存会にいます『若いのに偉いな』と言われるんですが、偉いことをしているなんて全く思いません。26歳のとき、地域の公民館の役員になると、地元での活躍の場が広がっていききました。「任期中に地域の子ども達やママ世代とも親しくなり、地元での活動がとても楽しくなりました。何事もやってみようという人が楽しくない地域は楽しくならないと思います。この多世代との交流がきっかけで、「やっぱり地元が好き」と再確認した喜多村さん。今、和南津に住んでいる人たちと地域を盛り上げたいと、地域の写真好きの方と協力してSNSで情報を発信する活動をしています。「私はとにかく和南津の人が好き。押し付けたり、無理を言っても和南津地域を残していきたいと思っています」。

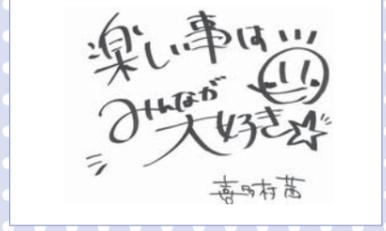


●上:和南津花笠甚句を踊る喜多村さん(写真右)。みんなで踊ったあとの宴会も楽しみのひとつ。●左下:現在も小千谷市真人で音楽活動を継続中。歌やよさこいのほかにも音響やプロデュースなど幅広く経験。●右下:復興記念誌「和南美」。和南美は和南津地域の美称のごときで、昔から公民館に掲げられており地元で知らない人がいないほど。

profile

- 1983年 旧川口町和南津地区に生まれる。
- 2001年 小千谷市の印刷会社に就職。職場の縁から地域活動を始める。
- 2005年 中越大地震「和南津復興の記録」の編集を担当。
- 2009年 地元公民館の役員に就任。多世代との交流を経て地元での活動が楽しくなる。
- 2015年 和南津地区の震災からの10年を綴った復興記念誌「和南美」を発刊。全ページ校正・編集を担当。地元をさらに深く知る機会となり愛着が増す。

活動の根っこ

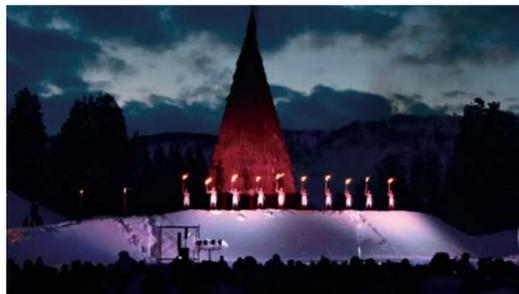


星野勇人さん (44歳 / 大工) 古志の火まつり実行委員会、商工会青年部、山古志仕事唄伝承の会

愛するふるさとで技術を活かす 先輩大工からつなぎ「世界一のさいの神」へ

山古志地域で毎年3月に開催される「古志の火まつり」は、その年の無病息災・五穀豊穡、震災からの復興を祈願するお祭りです。地域内から切り出したご神木を立て、その周りを木で組み、住民が持ち寄ったカヤを掛けてつくったやぐらに火をつけます。高さ25m級の「日本一のさいの神」のやぐらをつくるのは、市内から集まる20名の職人たち。そして棟梁として現場をまとめるのが山古志地域で大工を生業とする星野勇人さんです。やぐらづくりに関わり始めたのは27歳の時。大工の父親からの勧めをきっかけに、地域の先輩大工に交じって、木の組み方や手順といった知識や技術を身に付けていきます。「父は、小さいころから細かいことを言わない人で、仕事でも現場にどんどん出させられました。若いときから経験を積んだ星野さんは33

歳の時、視野の広さと気配りを買われ、初めて棟梁を任せられました。これまで当日に行っていた作業のうちで事前に行けることは前倒して準備をしたり、これまで口伝えだったやぐらの組み方を図面化。また新たに地域外からも職人を入れるなど、先輩大工のやり方を基に、工夫を加えて祭りをつないでいます。「地域外からわざわざ足を運んでくれたお客さんが、涙を流して感動してくれる姿に、やりがいを感じています」。棟梁を担って来年で10年。続けてきたからこそ感じられるふるさとへの愛着が、手間と工夫を怠らない星野さんの仕事ぶりに現れています。来年30回目の開催となる古志の火まつりに向け、星野さんは信頼できる職人たちと共にさいの神を更に大きくしたいと意欲を燃やしています。勢いよく最後まで燃え上がるさいの神となることを期待しています。

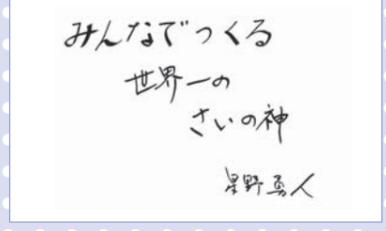


●上:古志の火まつりの様子。点火役の新成人が安全に点火できるように誘導役を務める。●左下:大工や庭師などの職人たちは、定期的に交流会を開き、親睦を深めている。「命綱を付けた高所作業もあり、信頼関係が大切。私自身も安心してみんなに任せられています」。●右下:来年3月の古志の火まつりに向け、今年4月から神木の選定と手入れが始まっている。一年がかりの作業。

profile

- 1973年 旧山古志村にある星野材木店の4兄妹の長男として生まれる。
- 1992年 18歳で大工を志し、新潟市や長岡市で修行。
- 2002年 家業の材木店で働き始める。
- 2005年 古志の火まつり実行委員会で活動開始。
- 2008年 工務店の代表になる。古志の火まつりでも棟梁として祭りを支える。

活動の根っこ



活動PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

特定非営利活動法人BAS長岡 デジタルものづくりの普及を目指して



3Dプリンタやレーザー加工機などのデジタル機器を使ったものづくり支援をしています。誰もが気軽にものづくりができる場所を作ろうと、3Dプリンタを持っている人たちに声をかけてサークルを作ったことがきっかけでした。今では、レーザー加工機やマイコン電子工作など作れるものの範囲が広がっています。今後は「ものづくり」+「プログラミング」教室を開催し、デジタルものづくりの普及を目指します。

長岡婦人フォークダンスクラブ アンティーズ いつまでも変わらぬ乙女心でフォークダンスに親しむ

来年で設立40周年となるフォークダンスクラブ。メンバーは40代から80代までの女性70名ほどで、毎週火曜日にアオーレを会場にして活動しています。各国の曲と振り付けの背景にある、国の歴史や文化、風習といった奥深い世界を、笑顔をもっと楽しく学んでいます。年齢もフォークダンス経験も様々なメンバー同士、励まし合いながら切磋琢磨しています。



山古志木籠ふるさと会 地域愛で来客をもてなす交流の場



水没家屋で知られ中越大地震の爪痕が残る、山古志地域の木籠集落。ここで復興と交流の拠点「郷見庵」を運営しています。他にも、田植えや畑づくりに、ちまき・笹団子づくり、盆踊りや、さいの神など年間を通じて集落維持と、地域住民と地域外の人たちとの交流に取り組んでいます。郷見庵では、地域のお母さん達が店頭に立ち、直売所を切り盛り。それぞれができる範囲で関わり、県内外からの来客を温かくもてなしています。

山長組 / 地域イベントに人員提供 「郷土への想い」を従業員総出で地域に還元

河川工事や道路整備などの社会インフラの整備を行う株式会社山長組は、地元のイベントを従業員総出でお手伝いすることで、大事にしている「郷土への想い」を地域に還元しています。西山連峰登山マラソン大会ではコースの清掃活動を行い、越後みしま竹あかり街道では資材となる竹の伐採や運搬作業に機材とノウハウを持った人員を提供。今後も地元への感謝の気持ちを忘れずに、この活動を継続していきたいです。



みんなの声
投稿フォーム
「これも協働!」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿者 タッキーさん
先日、息子とケンカしました。「親子なのになんで分かり合えない!」と激昂してしまいましたが、親子とはいえ、年齢も性別も人格さえも違うわけで。息子には息子の言い分や価値観があるんですね。お互いに思いやって、譲り合って、落としどころを決めてゆく作業は「協働」のように感じました。

投稿者 Coolさん
学生時代、宿題を手分けしてやりましたよね。英語が得意な奴、政経が得意な奴、数学が得意な奴。宿題を3分の1の時間で終えたこと、先生には内緒です。

投稿方法
投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する
QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口には「みんなの声」コーナーから投稿できます。

